

上院ナガラ別紙ヲ馬場子ニ
以授ナキヤ也

大正
昭和
18-8

七月十日 松岡啓徳様
啓於戸田君閣下連日
枯所而不幸候に由
風熱に罹るに神馳
幸違ひしに先病患
未だ未だ程能く公

お成事伏祈候に由
病勢甚重候旨何ぞ
力に及ばざるに由

過り申す文面より之を
件に於て同中候也
凡勝し要ふに論議
念又更故に川原に
運ナキ節に毎回の
しと翁に先ず候
素よりし其方故に

坪田様へ
是れ亦も情方にと
候申しに雨情に
余は方思川原に
候に官命に客司に
宜き事候に候に
理に及ばざるに
候に少く候に
より候に
何暇に地方へ
り候に
は其方にと
候に

は其方にと
候に

25m 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3